

第9回まちづくり町民会議会議録

日時	平成20年10月22日（水）午後7時～午後9時			
場所	会津美里町役場高田庁舎 北第3会議室			
出席者数	委員 7名参加			
委員	氏名	氏名	氏名	氏名
	石川栄子（座長）	荒井弘之	塩田光顕	佐藤国男
	片山玲子	渡辺秀造	野中憲子	
事務局	総合政策課長	弓田秀樹	総合政策係長	木崎 稔
	総合政策課	渡部朋宏	総合政策課	榎森正典

以下、名簿以外の個人名については削除する。

1. 開会

2. 座長あいさつ

3. 協議事項

(1) 意見集約

「住民参加を進めるにあたっての理念・目的等」

【主な意見】

- ・ 2班の「住民自らも役場と対等にものを言える組織が必要である」とした意見について、対等にものをいえる組織というのがひっかかる。上下関係をあらわしているのではないか。
- ・ オンブズパーソンやオンブズマンをイメージしたもので、行政のチェック機能の必要性を意味したものである。
- ・ 対等にものをいえる関係が必要であると表現したほうがよいのでは。
- ・ 「町の歴史と伝統を継承すること」これも理念に必要となってくるのではないか。
- ・ 伝統の継承は大事ではないか。次世代に残して未来につなげていく必要があるのでは。
- ・ 理念と目的を分けて考える必要がある
- ・ 目的が明確になればあとがはっきりしやすい。
- ・ 目的だけだとせつかくの意見が隠れてしまう。前文を入れた形にしたほうがよい。
- ・ 前文について、住民の立場で表現している先進事業もある。
- ・ 前文について「私たちは」と主語をいれたほうがよい。
- ・ ですます調の表現は非常にわかりやすい。

「住民参加により進めるべきまちづくり（行政活動）とは？」

【主な意見】

・行政活動とは

公共施設の利活用

町の計画・企画

町主催のイベント

予算を決めるとき

料金を値上げするとき

制度・組織が変更するとき

- ・予算のチェックより決算が大事ではないか。
- ・町民から見てわかるような決算の仕方が必要ではないのか。
- ・情報公開も含まれている。予算があつての計画ではない。計画があつての予算なので、計画の段階から町民の意見をきくということで、読み替えることは可能ではないか。
- ・住民の意見が通る行政活動の具体的なものは？
- ・住民が100パーセント納得するというのはありえない。住民の意見を聞く制度が明確にされていなかったのが今までの行政活動。住民の反対意見があつても最終的な政策の決定は首長や議会にあるが、こういう条例（制度）がないと住民への説明責任が果たせないのではないか。
- ・町民が意見を言ったときの町の姿勢も大事。
- ・説明会を開催しても説明を聞きませんでしたよで終わってしまつては意味がない。
- ・開催しても住民が集まらなないと意味がない。現状は他人事になっている。
- ・条例はわかりやすい表現にするべき。

(2) 視察研修の実施（西会津町）

平成20年11月19日（水）午後実施

案内については別途通知（出欠確認）

4. その他

次回以降のまちづくり町民会議について

第10回まちづくり町民会議 平成20年11月12日（水）午後7時～

ワークショップ

テーマ「まちづくり（行政活動）に参加するための方法」

5. 閉会